

<TAS 託児のポイント（改訂版）>

1. 最初に出会ったときは、顔を見て、「今日のボラは〇〇です」と短くはっきり自己紹介。出来れば、名札や文字を添える
2. まず最初にタイムスケジュールと一緒に確認しておく（見ていないようでも必ず見せる）
3. 初めしばらくの間、少し（1.5 mくらい）離れて、お子さんがどういう行動をするのかを見守る
4. 多動（よく動くこと）は、気楽に付き合っ。遠くから様子を見る。追いかけすぎない。一緒になって、走らない
5. 声かけは、はっきりと優しく、できるだけ肯定的な言い方をする。
例：「登っちゃダメ」→「下りましょう」
6. 自閉症児は、視覚優位。聞き言葉より、実物、絵カード、文字の方がわかりやすいことを忘れずに。「注意」は、各所に付けてあるマークを見せて
7. 危険なところや入ってはいけない所に入ろうとしているときは、後ろから止めようとしないで前にまわって制止する。できればその後行くところ、する事をつたえる
8. 困ったことをしても、あわてない
9. ものを投げる、人を叩くなどには、後で、言葉で注意するより、体でブロック
10. パニックになったら、危険のない静かなところで、落ち着いてもらう。その時、余計な声かけや刺激は極力さけて
11. 不安定になったら、お子さんが知りたい情報（スケジュールや親御さんの場所、していること）などを、絵や文字などで、書いて見せて、ゆっくり待ってみて
12. 気に入った遊びには、とことん付き合っ、少しずつアレンジ
13. 遊びや活動は、できるだけ、二択（どっち？）の「選択」できるように、促して
14. 怖がらなければ、振り回しなど体を使った遊びもグー
15. 「終わり」を伝えたいときは、具体的で、視覚的な表現を。
例：「三回でおしまいね」「〇を消して、無くなったら終わりね」
そして、終わったら何をするかを伝えて
14. 子どもの注意事項は、親御さんからの託児アンケートをよく読んで。カバンの中身もしっかりチェック
15. 健常の兄弟姉妹の担当にあたった方は、いっぱい遊んでたのしい時間を提供
16. たいへんなときはスタッフにHelpをだして。
なんとかできることはなんとかします(^^;)

TAS 託児スタッフ

COPYRIGHT(c) 2012 All rights reserved by Ayako Okudaira